

日本原子力学会 標準委員会 リスク専門部会 PRA 品質確保分科会
第 31 回会合議事録

日時：2019 年 10 月 24 日（木）13:30～17:00

場所：電力中央研究所大手町地区（大手町ビル 7 階）771 会議室

出席者（敬称略）

委員：桐本主査（電中研），藤崎幹事（関電），倉本（NEL），小森（東芝），
杉原（原電），曾根田（日立 GE），玉木（中部電），日高（テプシス），
村田（JANSI），吉田（JAEA）

10 名出席

常時参加者：山本（原電エンジ）

1 名出席

傍聴者：丹野（テプシス） 1 名

欠席委員：糸井（東大），田中（MHI），二木（東電）

配付資料：

RK4SC31-1：第 30 回 PRA 品質確保分科会議事録案

RK4SC31-2-1：共通用語定義 2018 英語版の修正について

RK4SC31-2-2：JCNRM コメント対応表案（PRA 共通用語定義）

RK4SC31-2-3：共通用語定義 2018 英語版（技術レポート案）

RK4SC31-3：IRIDM 標準の PRA 附属書 委員会審議状況について

RK4SC31-4：品質確保基準 基準改定案

RK4SC31-5：標準策定 5 年計画（2020 年度版案）

RK4SC31-6-1：標準委員会 用語辞典の年度更新検討依頼（リスク情報活用検討タスク
資料抜粋）

RK4SC31-6-2：標準委員会 用語辞典 2019 年度更新案

RK4SC31-7：分科会スケジュール案

RK4SC31-参考 1：分科会名簿

RK4SC31-参考 2：日本原子力学会 標準委員会 倫理教育に関する資料

議事：

1. 定足数の確認

委員 13 名中 10 名が出席しており，本会議が議決に必要な定足数を満足していることが確認された。

2. 前回議事録の確認（RK4SC31-1）

RK4SC31-1 に基づき，第 30 回分科会の議事録を確認した。6. の箇条書き 1 つ目の「事業者組織内での」という記載を削除した上で、正式版とすることが了承された。

3. 共通用語定義 2018 英語版の修正について（RK4SC31-2-1,2,3）

RK4SC31-2-1,2,3 に基づき，藤崎幹事から共通用語定義 2018 英語版の修正について報告された。修正の理由は，JCNRM 委員からのコメントへの対応であるが，発行手続き時のチェックにおいて認められた誤記への対応も合わせて実施する。意見があればメール等で連絡することとなった。

- No.2：「内の事象」及び「外的事象」の定義から，起因事象を引き起こすという記載を削除すべきとのコメントについては，日本の各標準では「内の事象」及び「外的事象」を起因事象に至る事象に限定して用いており，変更できないことから，日本の状況を説明した上で，Category を②（改定案に反映しないが解説・懸案等に記載）から④（対応する必要のないコメント）に変更する。

- No.19 : 「レベル 2PRA」の定義から「large」を削除すべきとのコメントについては、活用に問題はないため、速やかな改定ではなく、次回改定時に対応する方針とする。
- 日本語版の定義については、誤記載対応ガイドラインに基づき、次回改定時に修正することを示す資料を追加することとなった。

4. IRIDM 標準の PRA 関係附属書 委員会審議状況について (RK4SC31-3)

RK4SC31-3 に基づき、倉本委員から IRIDM 標準の PRA 関係附属書の委員会審議状況について報告された。主な議論は下記のとおり。他に意見があればメール等で連絡することとなった。

- 公衆審査の意見 No.1,4 の回答（案）について、原子力規制委員会が言う「決定事項」との混同を避けるため、「決定事項」という記載を「合意事項」に変更する。また、引用する文章を原文のまま引用し、日付も記載する。また、引用した資料を回答の後ろへ添付する。

5. 標準策定 5 か年計画の改定について (RK4SC31-5)

RK4SC31-5 に基づき、藤崎幹事から標準策定 5 か年計画の改定について報告された。品質確保標準について、標準名称の変更を伴う改定と PRA 標準の全体像の議論を並行して、現行スケジュールに入れ込む方向だが、上位標準化は難しい状況にあるため、まずは標準名称の変更を伴う改定について、来年 2 月中間報告を目指して進めることとなった。

6. 標準委員会 用語辞典更新の対応について (RK4SC31-6-1,2)

RK4SC31-6-1,2 に基づき、藤崎幹事から標準委員会 用語辞典更新への対応について報告があり、内容を議論した。

- 共通用語定義 2018 の用語のうち抜けているもの（重要度指標、専門家判断など）を追加するよう事務局に依頼する。
- 発行済みの標準の記載を辞典に反映するものであるから、共通用語定義への JCNRM コメント（「レベル 2PRA」の定義から「多量の (large)」を削除）は反映しない。

7. 品質確保標準の改定案について (RK4SC31-4)

RK4SC31-4 に基づき、村田委員及び藤崎幹事から品質確保標準の改定案について報告があり、内容を議論した。

- 3 用語の定義については、PRA のメンテナンスとアップグレードの説明は 5.2.3 にも記載されており、PRA の品質は解説に記載されているので、3 用語の定義からは削除する。
- 5.2.3 は変更前の記載に戻す。
- 5.2.4 は、変更前の記載が「未対応（の変更）」を説明する文章であったことから、変更前の記載をベースとし、プラント等の変更が未対応のまま保留される具体例について JCNRM に質問し、それを踏まえて記載を検討することとなった。
- 解説 1 に記載のある「PRA の品質」に関する説明を 1 適用範囲に記載を移す。

8. 次回分科会日程

次回分科会は 1/17（金）に開催することとした。

9. その他

分科会の終了後に 2019 年度の倫理教育を実施した。

以 上